



第11回 なぜ青梅で アートなのか？ 対話・創造・地域

青梅市では多様なアーティストが居住し、活動しています。美術・音楽・映像・文芸など"芸術"に関わる様々な表現者たちはなぜここにやってきて、彼らは日々何を考え、生活しているのでしょうか？

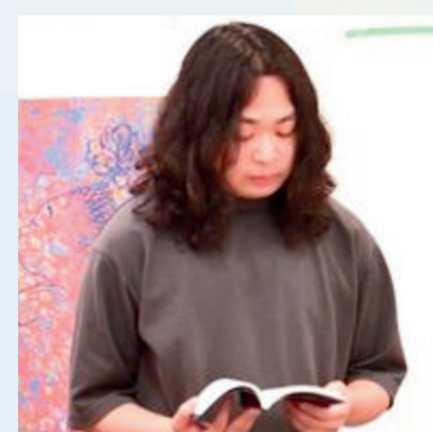
これはそんな素朴な疑問を地域のあらゆる人たちと一緒に考え、対話する市民参加型のトークイベント。より創造的で豊かな生活を実現するための試みです。



ゲスト
菊池康弘

1981年、東京都日野市に生まれる。青梅市在住。高校を卒業後、20代で俳優を志す。その後、演出家・蜷川幸雄が主宰する「ニナガワ・スタジオ」に入所し、俳優としてのキャリアをスタートさせる。俳優としての活動を経て、29歳の時に飲食業に転身。地元・青梅市に炭火やきとり「火の鳥」を開業する。2014年には株式会社チャスを設立し、精力的に多店舗展開を進める。

2021年には、青梅市に50年ぶりに映画館「シネマネコ」をオープンし、注目を集める。この映画館は国の登録有形文化財である旧都立繊維試験場を改修し、都内初の木造映画館として生まれ変わった。現在、青梅市内で4店舗の飲食店と映画館の運営を行っており、その活動はメディアでも広く取り上げられ、地域の文化と経済を活性化させる経営者として、注目されている。



司会
井上正行

1992年、東京都青梅市に生まれる。学習院大学卒。合同会社ARTの地産地消代表。キュレーター。詩人。地域で生まれた芸術作品を、まずは地域の人たちに味わってもらうために「ARTの地産地消」運動を行っている。

2019年より青梅市立美術館と共催で展覧会の企画に携わっている。企画した主な展示に「アートビューイング西多摩 ARTの地産地消」「アートビューイング西多摩 開花するアート」「アートビューイング西多摩 "アート"を俯瞰する」などがある（いずれも青梅市立美術館）。

場所：THE ATELIER

青梅市本町130-1

ダイアパレスステーションプラザ青梅204

定員：15名

時間：14:00-15:00(60分程度)

参加費：1000円

お申込み：lpic.of.art@gmail.com

主催：合同会社ARTの地産地消



12

2024.10.12.sat

第12回 なぜ青梅で アートなのか？ 対話・創造・地域

青梅市では多様なアーティストが居住し、活動しています。美術・音楽・映像・文芸など"芸術"に関わる様々な表現者たちはなぜここにやってきて、彼らは日々何を考え、生活しているのでしょうか？
これはそんな素朴な疑問を地域のあらゆる人たちと一緒に考え、対話する市民参加型のトークイベント。より創造的で豊かな生活を実現するための試みです。



ゲスト
奥村よしひろ

新宿のコニカプラザでフラメンコ写真の個展を開催したことがきっかけとなり、サラリーマンからフラメンコ写真家に転身。その後、精力的にフラメンコの撮影を続け、フラメンコ界で高い評価を得ている。2013年には、ボランティア活動として「青梅フォトカジェー」を立ち上げ、西多摩地域での写真文化の普及に尽力している。2023年からは「フォト・ジャラン2展」も開催し、活動の幅を広げている。
一方で、インドネシア・バリ島の自然や伝統文化に魅了され、毎年バリ島を訪れて撮影を行っている。芸術の村ウブドーにフォトギャラリーを設立し、バリの写真を展示・販売している。また、横浜で毎年行われるグループ展にも参加し、2016年からは韓国の写真家Kim氏の招待で「GiPF展」に毎年作品を出品している。2023年には「バリ島の不思議展」を横浜で開催し、今年は青梅でも同展を開催する予定である。



司会
井上正行

1992年、東京都青梅市に生まれる。学習院大学卒。合同会社ARTの地産地消代表。キュレーター。詩人。地域で生まれた芸術作品を、まずは地域の人たちに味わってもらうために「ARTの地産地消」運動を行っている。
2019年より青梅市立美術館と共催で展示会の企画に携わっている。企画した主な展示に「アートビューイング西多摩 ARTの地産地消」「アートビューイング西多摩 開花するアート」「アートビューイング西多摩 "アート"を俯瞰する」などがある（いずれも青梅市立美術館）。

場所：THE ATELIER
青梅市本町130-1
ダイアパレスステーションプラザ青梅204
定員：15名
時間：14:00-15:00(60分程度)
参加費：1000円
お申込み：lplc.of.art@gmail.com
主催：合同会社ARTの地産地消



27
2024.10.27.sat